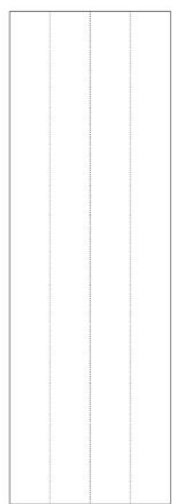


4三 現代語で書かれた「竹取物語」のどこがどのように工夫されているかについて、古典と比較して書く



※ 左の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きます。

4 [4] 石井さんは、国語の時間に、「竹取物語」を読みました。そのあと、学校図書館で、現代語で書かれた「竹取物語」を見付け、読み比べてみました。次は、「探検で読んだ『竹取物語』の一部」の原文と、その現代語訳とを比べて読んで、あとの問いに答えなさい。

『探検で読んだ『竹取物語』の一部』

学校図書館で見付けた『竹取物語』の一部

「原文」

今昔、竹取の翁といふものありけり。野山にまじりて竹を取りつづ、よろづのことに使ひけり。をば、さぬきの姫ととるまじひける。その竹の中に、もろなる竹をむ。筋ありける。あやしがりて、寄せて見るに、翁の中光りたり。それを見れば、三寸ばかりなる人、いとつくしうてありたり。

『現代語訳』

今ではもう昔のことだが、竹取の翁といふ者がいた。野山に分け入って竹を取っては、いろいろなことに使っていた。名前を、さぬきのみやつこといった。その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。不思議に思って、近寄って見ると、筒の中が光っている。それを見ると、三寸ほどの人が、とてもかわいらしい様子で座っている。

4三	正答率	無解答率
和泉市	39.5	32.6
全国(公立)	50.0	20.7

【出題の趣旨】文章の校正や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることができるか

【学習指導要領の内容】(読むこと1エ)

【評価の観点】思考・判断・表現

【問題形式】記述式

【課題】文章の構造や展開、表現の効果について、根拠を明確にして考えることに課題がある

指導改善のポイント

- ★「読むこと」を通して古典の楽しみ方を理解する
 - ・古典の現代語訳や古典について解説した文章などを教材として適切に取り上げ、生徒自身が古典の楽しみ方を見出すことができるよう指導することが大切です。
 - ・教科書に掲載されている現代語訳だけでなく、中学生が楽しめるような現代語訳などを取り上げ、文章の構成や展開、表現の効果などに着目して、工夫されているところを考える学習活動が効果的です。

3四 「『判じ絵』の読解の面白さ」と見出しを付けた部分に具体例として示す「判じ絵」を選択し、その読解の仕方を書く



3 [3] 山田さんは、国語の時間に、言葉に隠して興味をもつたことをレポートにまとめています。次は、山田さんが書いているレポートの「下書きの一部」です。これを読んで、あとの問いに答えなさい。

「判じ絵」について 山田 光一

1. はじめに
学校図書館の本で、「判じ絵」というものがあることを知った。「判じ絵」には具体的にどのようなものがあるのか、また、「判じ絵」がいつ生まれ、どのように現代に伝わったのかに興味をもみ、詳しく調べることになった。

2. 調査方法
学校図書館、地域の図書館、インターネットで情報を集めた。

3. 調査結果

■「判じ絵」とは何か
「判じ絵」とは、描かれている絵や記号などが何を意味しているかを解読して楽しむものである。(ア)ただし、(図1)のように、描かれているもの(図1)ザルと意味しているものと異なるため、解読する際には、「判じる」こと、つまり、知っていることをもとに「おしよって考える」ことが必要になる。(イ)言ってみれば、なぞなぞやクイズのようなものである。(ウ)また、「判じ絵」の起源を調べたところ、平安時代後期から行われていた「ことば遊び」だと考えられていることが分かった。(エ)そして、江戸時代に庶民の間に広まる中で様々なものが生まれ、浮世絵ともつながりの深い文化として定着していったという。(オ)さらに明治に時代が移っても、人々の娯楽として親しまれ、現代でも雑誌の挿絵やテレビのクイズ番組などで見ることができる。

■「判じ絵」の読解の面白さ
「判じ絵」の読解の仕方について、具体的に例を挙げて説明する。

【図2】スズメ
【図2】は、鈴の絵に目が描かれている。描かれているものを組み合わせて解読すると、鳥の「スズメ」という意味になる。

【図3】は、

3四	正答率	無解答率
和泉市	60.8	19.1
全国(公立)	72.1	10.2

【出題の趣旨】自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書くことができるか

【学習指導要領の内容】B書くこと1ウ

【評価の観点】思考・判断・表現
【問題形式】短答式

【課題】自分の考えが伝わるように、根拠を明確にして書くことに課題がある

指導改善のポイント

- ★自分の考えが伝わる文章になるように、根拠を明確にして書く
 - ・根拠が考えや言動の拠り所となるものであることを理解する必要があります。その上で、自分の思いや考えを繰り返すだけではなく、根拠を文章の中に記述する必要があります。その際、根拠として、複数の事例を示したり、専門的な立場からの知見を引用したりするなど、工夫して書くことができるよう指導することも大切です。
 - ・読み手に伝えたい自分の考えを明らかにした上で、複数の事例の中からどの事例を自分の考えを支える根拠として取り上げるのかを検討したり、根拠をどのように文章中に記述すると明確になるかを吟味したりする学習活動を取り入れると効果的です。

6 (2) はじめの数に掛ける数が2、たす数が6ならば計算結果はいつでも3倍になることの説明を完成する

6 次の図1のように、はじめの数として○に整数を入れて計算し、計算結果を求めます。



夏希さんは、はじめの数として○にいろいろな整数を入れて計算しています。例えば、はじめの数が1、4、-5のときは、それぞれ下のような計算になります。

計算の例



(2) 夏希さんは、前ページの計算の例の計算結果がどんな数になるかを調べています。

1のとき	6	$6 = 3 \times 2$
4のとき	15	$15 = 3 \times 5$
-5のとき	-12	$-12 = 3 \times (-4)$

夏希さんは、これらのことから、「はじめの数としてどんな整数を入れても、計算結果はいつでも3の倍数になる」と予想しました。この予想が成り立つことは、次のように説明できます。

説明1

はじめの数として入れる整数を n とすると、はじめの数に2をかけた数は $n \times 2$ 、3をたした数は $n + 3$ と表される。計算結果は、
 $n \times 2 + (n + 3)$
 $= 2n + n + 3$
 $= 3n + 3$
 $= 3(n + 1)$
 $n + 1$ は整数だから、 $3(n + 1)$ は3の倍数である。したがって、はじめの数としてどんな整数を入れても、計算結果はいつでも3の倍数である。

ここで、夏希さんは、前ページの図1で、はじめの数としてどんな整数を入れても、計算結果がいつでも3の倍数になるのは、「3をたす」の「3」が3の倍数であるからではないかと考えました。

6 (2)	正答率	無解答率
和泉市	46.6	21.3
全国(公立)	58.8	10.6

【課題】 目的に応じて式を変形したり、その意味を読み取ったりして、事柄が成り立つ理由を説明することに課題がある

指導改善のポイント

★事柄が成り立つ理由について構想を立て、根拠を明確にして説明できるようにする

- ・ 予想を立て、予想した事柄が成り立つことを説明するために計算結果を表した式を見通しを持って、式を変形できるようにすることが大切です。式を立てるだけでなく、なぜその式になったのか、根拠を明確にして説明する活動を日常的に授業に取り入れることで、説明をより洗練させていくことができます。

7 (2) 主張について、そのように主張できる理由を箱ひげ図に着目して説明する

7 イチョウの木の大部分の葉が黄色に変わった最初の日を黄葉日といいます。一花さんと啓太さんは、黄葉日が以前と比べるとだんだん遅くなってきている傾向にあることをニュースで知り、二人が住む地域も同じ傾向にあるのが気になりました。そこで、二人が住む地域の黄葉日を調べたところ、1961年から2020年までの60年分の記録がありました。

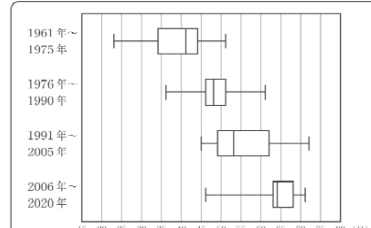
二人は、黄葉日の傾向を調べるために、各年の黄葉日を9月30日からの経過日数で表すことにしました。このとき、経過日数は10月1日が1日となり、10月31日は31日、11月1日は32日となります。そして、二人は次のような表にまとめた。

年	黄葉日	経過日数(日)
1961	10月23日	23
1962	11月10日	41
1963	11月10日	41
1964	11月13日	44
1965	11月12日	43
...
2019	12月10日	71
2020	12月4日	65

二人は、上の表を見て、経過日数が年によって大きくなったり小さくなったりしていることに気づきました。そこで、60年分の経過日数を何年かごとのまとまりで分けて箱ひげ図で表し、それぞれの分布の傾向を比較することにしました。

次のページの黄葉日までの経過日数の分布は、15年ごとのまとまりとして1961年～1975年、1976年～1990年、1991年～2005年、2006年～2020年の4つに分けてまとめたものです。

黄葉日までの経過日数の分布



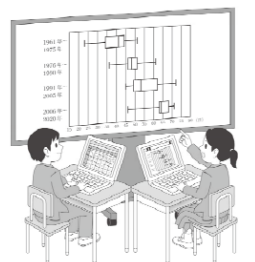
	経過日数(日)				
	最小値	第1四分位数	中央値	第3四分位数	最大値
1961年～1975年	23	34	41	44	51
1976年～1990年	36	46	48	51	61
1991年～2005年	45	49	53	62	72
2006年～2020年	46	63	64	68	71

次の(1)、(2)の各問いに答えなさい。

(2) 二人は、前ページの箱ひげ図を見て、話し合っています。

一花さん「4つの箱ひげ図を見ると、黄葉日はだんだん遅くなってきている傾向がありそうだね。」
 啓太さん「でも、1991年～2005年と2006年～2020年の箱ひげ図は、右端と左端が同じくらいの位置にあるよ。遅くなっているといえるのかな。」
 一花さん「確かに箱ひげ図の右端と左端についてはそうだけど、箱に着目すれば、2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にあるといえるのではないかな。」

前ページの箱ひげ図を見ると、一花さんのように「2006年～2020年の黄葉日は、1991年～2005年の黄葉日より遅くなっている傾向にある」と主張することができます。そのように主張することができる理由を、1991年～2005年と2006年～2020年の2つの箱ひげ図の箱に着目して説明しなさい。



【出題の趣旨】 複数の集団データの分布の傾向を比較して捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができるか

【学習指導要領の領域】 Dデータの活用2(1)イ(ア)

【評価の観点】 思考・判断・表現
 【問題形式】 記述式

7 (2)	正答率	無解答率
和泉市	19.7	38.4
全国(公立)	33.6	22.8

【課題】 複数のデータの分析の傾向を比較し、判断の理由を説明することに課題がある。

指導改善のポイント

★目的に応じてデータを収集して分析し、傾向を読み取って批判的に考察し判断することを通して、統計的に問題解決することができるようにする

- ・ 日常生活や社会の事象を題材とした問題などを取り上げ、統計的に問題解決することができるように指導することが大切です。その際、問題を解決するために計画を立て、必要なデータを収集して分析し、データ分布の傾向を捉え、その結果を基に批判的に考察し、判断するという活動を充実させることが大切です。なお、インターネットなどの情報通信ネットワークを活用してデータを収集する場合は、二次的なデータが多くなると考えられるので、誰がどのように調べた結果か、その信頼性についても批判的に考察する必要があります。

9 (2) メールの英文を依頼する表現に書き換える

9

(1) 次の①、②について、例を参考にしながら、必要があれば()内の語を適切な形に変えたり、不足している語を補ったりして、それぞれ会話が成り立つように英文を完成させなさい。

(例) <友達同士の会話>
A: I called you at eight last night.
B: Oh, sorry. I (do) my homework then.
(答え) was doing

① <先生と生徒の会話>

A: Do you have any plans for summer vacation?

B: Yes. I (visit) my uncle in London. I can't wait!

A: Wow, that's nice!

② <友達同士の会話>

A: Oh, you have a new watch!

B: Yes, I got it yesterday.

A: (buy) the watch?

B: At a department store near the station.

(2) 次の英文は、ある生徒が文書作成ソフトを使って、スピーチコンテスト (speech contest) についてミス先生 (Mr. Smith) 宛てに書いた【メール文の下書きの一部】です。送信する前に友達に相談したところ、友達から【コメント】をもらいました。【コメント】にしたがって、下線を書き直しなさい。

【メール文の下書きの一部】

Dear Mr. Smith,

How are you?

We have a speech contest next Friday.
The speech contest starts at 10:00.
You have to come to the speech contest.

【コメント】

この英文は、依頼する表現に修正したほうがよいと思う。

9 (2)	正答率	無解答率
和泉市	22.4	34.8
全国 (公立)	29.0	24.5

【出題の趣旨】「相手の行動を促す」という言語の働きを理解し、依頼する表現を正確に書くことができるか

【学習指導要領の領域】 (5) 書くこと ア

【評価の観点】知識・技能

【問題形式】短答式

【課題】「相手の行動を促す」という意味を理解しておらず、依頼する表現をすることに課題がある

指導改善のポイント

★言語の使用場面やコミュニケーションを行う相手との関係を意識し、場面や状況に応じた適切な表現を選択できるようにする

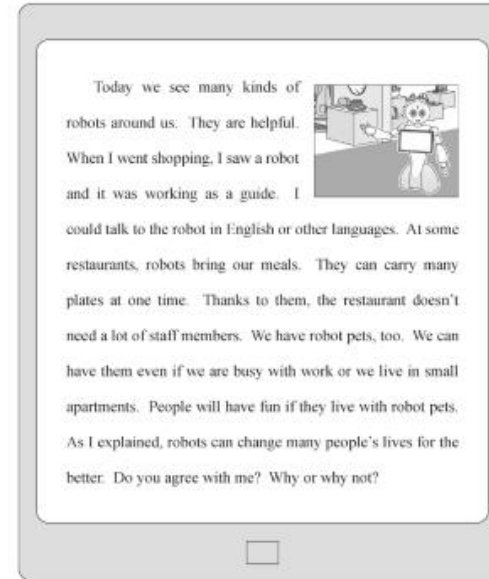
- 教科書における登場人物の設定を変更し、適切な表現や言い方に直して音読する活動や、既習の表現を同じ言語の働きごとに分類したり、同じ言語の働きをもつ表現同士を比較して相違点を考えたりする活動を日常的に行うことが大切です。
- 理解した言語の働きを別の文脈においても活用できるようにするために、異なる場面や状況を設定して、同じ言語の働きをもつ表現を使い分ける活動を繰り返し行うと効果的です。

8 (2) ロボットについて書かれた英文を読み、書き手の意見に対する自分の考えとその理由を書く

8 英語の授業で、ブラウン先生が作成した文章が学習者用端末に送信されました。これを読んで、以下の問いに答えなさい。

(2) ブラウン先生の質問に対するあなたの考えと理由を英語で簡潔に書きなさい。

※ 下の枠は、下書きに使ってもかまいません。解答は必ず解答用紙に書きなさい。



8 (2)	正答率	無解答率
和泉市	17.5	42.9
全国 (公立)	19.5	29.3

【出題の趣旨】社会的な話題に関して読んだことについて、考えとその理由を書くことができるかどうかをみる

【学習指導要領の領域】 (5) 書くこと ウ

【評価の観点】思考・判断・表現

【問題形式】記述式

【課題】基本的な語や文法事項等を理解して自分の考えや理由を書くことに課題がある。

指導改善のポイント

★読んだことを基に自分の考えとその理由を書くことができるようにする

- 教科書に取り上げられている話題に関する自分の意見や感想を、スピーチの形式や新聞やホームページなどへの投稿文の形式で書く活動や、他教科等でも扱われる自然環境、世界情勢、科学技術、平和などの話題に関して読んだ内容を踏まえて、内容に関する感想、賛否やその理由などを書く活動を取り入れる。
- 書いた英文を推敲する際は、コミュニケーションを行う目的や場面、状況等に応じた適切な内容になっているか、正確に書くことができているかを指導する必要があります。